

月 日 () 名前

1 教科書 6 ページの 1 を声に出して読みましょう。

- (1) できたジュースの量を求めるための、式と求め方を考えました。次の □ にあてはまる数をかきましょう。

(式) +

＜求め方＞

0.038 は、0.001 が 個、

0.19 は、0.001 が 個だから、

0.001 が (38+190) 個になります。

- (2) できたジュースの量を筆算で求めましょう。

- (3) 教科書 7 ページの残りのシロップの量の求め方を見て、できたジュースの量の求め方と、似ているところを探しましょう。

2 まとめです。次の () の中を声に出して読みましょう。

小数点から下のけた数がちがうときも、位をそろえると、たし算やひき算をすることができます。

3 教科書 7 ページの 2 の問題に取り組みましょう。

①

②

「整数と小数」

教科書 10 ページ～11 ページ

月 日 () 名前

1 教科書 10 ページの飛行機の絵を見ましょう。全長は 56.72m あります。

(1) 56.72 は、どんな数ですか。次の□にあてはまる数をかきましょう。

10 を □ 個、1 を □ 個、
0.1 を □ 個、0.01 を □ 個
あわせた数

0.01 を
□ 個
集めた数

(2) 整数や小数の関係について、次の () にあてはまる言葉や数をかきましょう。

整数や小数では、数字のかかれた位置で () がきまります。
となりあう位との間には、() 倍、() の関係があります。

2 教科書 11 ページの 1 を声に出して読みましょう。

(1) 56.72 を 10 倍すると、いくつになりますか。

(2) 56.72 の $\frac{1}{10}$ は、いくつになりますか。

3 まとめです。次の () の中を声に出して読みましょう。

10 倍すると、小数点が右に 1 けた移ります。 $\frac{1}{10}$ すると、小数点が左に 1 けた移ります。

4 教科書 11 ページの 2 の問題に取り組みましょう。

(1) 60.12 を 10 倍すると 、 $\frac{1}{10}$ すると 。

(2) 16.92 を 10 倍すると 、 $\frac{1}{10}$ すると 。

「整数と小数」

教科書 12 ページ

月 日 () 名前

1 教科書 12 ページ 3 を声に出して読みましょう。

(1) 42.195 を 10 倍、100 倍、1000 倍したときの数を求めましょう。□にあてはまる数をかきましょう。

10 倍したとき

$42.195 \times 10 =$

100 倍したとき

$42.195 \times 100 =$

1000 倍したとき

$42.195 \times 1000 =$

(2) (1) で求めた数を順に調べると、きまりが見つかりました。
どのようなきまりがあるのかを考えましょう。

2 まとめです。次の () の中を声に出して読みましょう。

整数や小数を、10 倍、100 倍、1000 倍すると、小数点は、右に
それぞれ 1 けた、2 けた、3 けた^{うっ}移ります。

3 教科書 12 ページの 4 5 6 の問題に取り組みましょう。

4

① 2.367

(10倍)
(100倍)
(1000倍)

② 0.082

(10倍)
(100倍)
(1000倍)

③ 0.5

(10倍)
(100倍)
(1000倍)

5

① 57.1 () 倍

② 5710 () 倍

③ 571 () 倍

6

① $0.25 \times 10 =$

② $7.93 \times 100 =$

③ $0.14 \times 1000 =$

「整数と小数」

教科書 13 ページ

月 日 () 名前

1 教科書 13 ページ 7 を声に出して読みましょう。

(1) 108.9 を $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{100}$ 、 $\frac{1}{1000}$ にしたときの数を求めましょう。□にあて

はまる数をかきましょう。

$\frac{1}{10}$ にしたとき $108.9 \div 10 =$

$\frac{1}{100}$ にしたとき $108.9 \div 100 =$

$\frac{1}{1000}$ にしたとき $108.9 \div 1000 =$

(2) (1)で求めた数を順に調べると、きまりが見つかりました。
どのようなきまりがあるのかを考えましょう。

2 まとめです。次の () の中を声に出して読みましょう。

整数や小数を、 $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{100}$ 、 $\frac{1}{1000}$ にすると、小数点は、左に
それぞれ 1 けた、2 けた、3 けた^う移ります。

3 教科書 13 ページの 8 9 10 の問題に取り組みましょう。

8	① 256.4	$(\frac{1}{10})$	② 40.1	$(\frac{1}{10})$	③ 70	$(\frac{1}{10})$
		$(\frac{1}{100})$		$(\frac{1}{100})$		$(\frac{1}{100})$
		$(\frac{1}{1000})$		$(\frac{1}{1000})$		$(\frac{1}{1000})$

9 ① 2.93 () ② 0.0293 () ③ 0.293 ()

10 ① $6.8 \div 10 =$ ② $32.8 \div 100 =$ ③ $41.5 \div 1000 =$

「整数と小数」

教科書 14 ページ～15 ページ

月 日 () 名前

- 1 教科書 14 ページの $\triangle 1$ $\triangle 2$ $\triangle 3$ $\triangle 4$ の問題に取り組みましょう。
それぞれの問題を声に出して読んでから取り組みましょう。

$\triangle 1$ ①	(10倍)	②	$(\frac{1}{10})$
	(100倍)		$(\frac{1}{100})$
	(1000倍)		$(\frac{1}{1000})$

$\triangle 2$ ①		②	
-----------------	--	---	--

$\triangle 3$

$\triangle 4$

- 2 整数と小数の学習をふりかえりましょう。教科書 15 ページの「わかったこと」や「できるようになったこと」、「もっとやってみたいこと」などをかきましょう。ひなたさんやだいちさんのふりかえりを参考にしましょう。

「体積」

教科書 16 ページ～17 ページ

月 日 () 名前

1 教科書 16 ページの絵を見て、問題を声に出して読みましょう。

(1) 教科書 16 ページの㊸と㊹の箱のたて、横、高さの和を求めましょう。

㊸の箱 式 答え

㊹の箱 式 答え

(2) 箱（直方体や立方体）のたて、横、高さの和が同じときは、かさも同じといえますか。どちらかに○をつけ、予想してみましょう。

（ かさも同じ ・ かさはちがう ）

(3) あてはまる言葉（ ）の中に入れましょう。

㊸と㊹の箱のかさをくらべるために、まず、重ねてくらべます。重ねてもわからないときは、面積と同じように、（ ）で表すことができます。

2 教科書 17 ページの㊸と㊹のかさの表し方を調べます。

1 辺が 1 cm の立方体をならべると何個あるかを求めましょう。

㊸ 12 個が 2 だんで 個 ㊹ 9 個が 3 だんで 個

3 まとめです。次の（ ）の中を声に出して読みましょう。

かさのことを^{たいせき}体積といいます。体積は、1 辺が 1 cm の立方体は何個分あるかで表します。

1 辺が 1 cm の立方体の体積を 1 cm^3 とかき、「1 ^{りっぽう}立方センチメートル」とよみます。 cm^3 は体積の単位です。

4 ㊸の体積は cm^3 、㊹の体積は cm^3 です。